

議会が 移転します



議会関連施設（議場、委員会室、会派控室、議会事務局など）は、市民サービスセンター（仮称）の7階～9階に移転し、2月3日（月）より業務を開始する予定です。

※電話・ファクス番号の変更はありません

※各フロアの見取り図は以下の通りです（20ページも参照ください）

【新たに設けられる設備など】
新しい議場などには、開かれた議会を目指し、傍聴者用の設備などが新設、追加されます。

◆傍聴者用モニター

議場の傍聴席付近に傍聴者用モニターを2台設置します。

◆車いす専用スペース

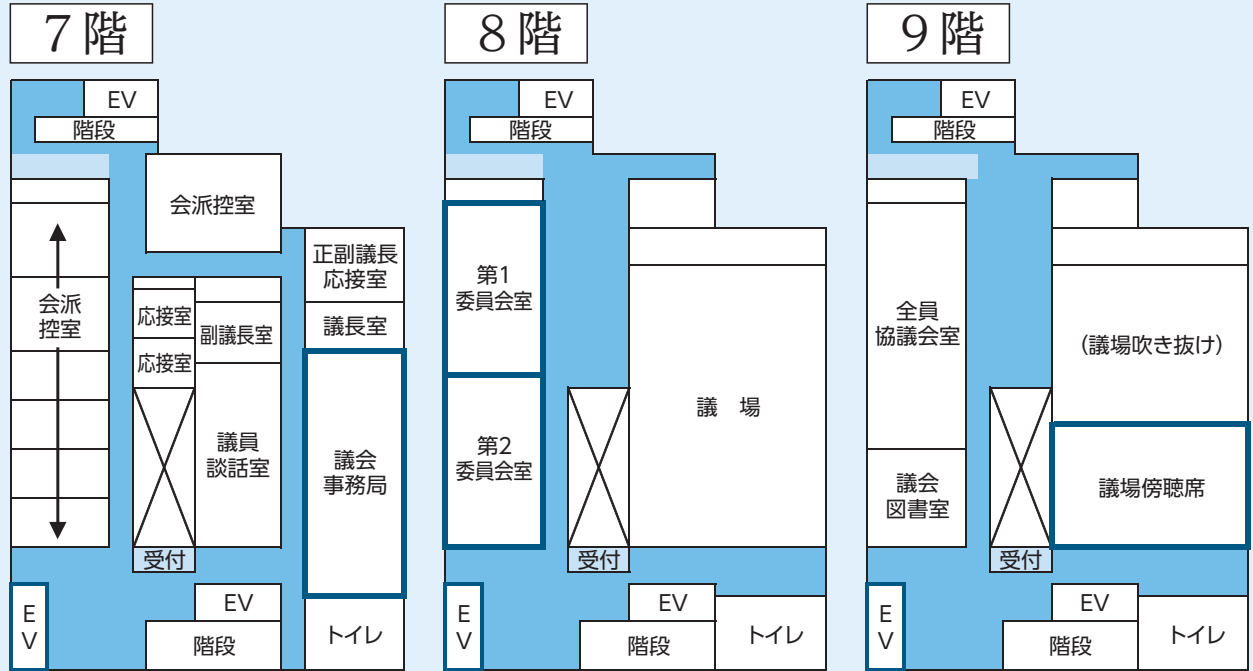
議場の傍聴席に、車いすをご利用される方の専用スペース（2席分）を設置します。

◆キッズルーム

議場の傍聴席に、お子様連れの方がご利用できるキッズルームを新設します。

◆難聴者支援設備

議場内に、難聴者の方のための支援設備を設置します。



※EVはエレベーターの略です

市民サービスセンター（仮称）議会関係フロア（7階～9階）見取り図

第1回定例会（2～3月）

第1回定例会（2月～3月）が予定されましたのでお知らせします。
※今後、変更となることがあります

月	日	曜日	会議など
2	28	金	本会議（議会人事、提案説明など）
	1・2	土・日	休会
	3	月	休会（自宅審査）
	4	火	本会議（代表質問）
	5	水	本会議（代表質問）
	6	木	本会議（個人質問）
	7	金	本会議（個人質問）
	8・9	土・日	休会
	10	月	本会議（個人質問）
3	11	火	常任委員会
	12	水	常任委員会
	13	木	常任委員会
	14	金	常任委員会
	15・16	土・日	休会
	17	月	常任委員会
	18	火	常任委員会
	19	水	休会（整理日）
	20	木	休会（整理日）
	21～23	金～日	休会
24	月	本会議（表決など）	

◆議会を 傍聴してみませんか？

下関市議会では、市民に開かれた議会運営を行うため、地方自治法で定められた本会議に加え、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も原則として公開しています。傍聴される方は、会議の行われる日に各フロアの受け付けで、住所、氏名などを書いて、到着順に傍聴券を受け取ってください。

【傍聴受付場所】

- 本会議Ⅱ9階受付
定員Ⅱ70人
 - 委員会Ⅱ8階受付
定員Ⅱ各委員会室8人
- ※各階の受け付けまでは、エレベーターを利用してください

【傍聴の際、 守っていただくこと】

- ・どのような理由があっても、議員席には入らないでください。
- ・発言に対し、声を出したり、拍手などをして騒ぎ立てないでください。
- ・静粛を守り、話しをしたり、笑ったりしないでください。
- ・帽子、コート、マフラー、手袋の類は着用しないでください。
- ・傍聴席で、ものを食べたり飲んだり、たばこをすわらないでください。
- ・議長や委員長の許可なく、録画や録音はしないでください。
- ・携帯電話は必ず電源を切るか、マナーモードにしてください。

係員の指示に従ってください。





議会だより

市出資法人調査 特別委員会 調査結果報告

議会の情報は下関市の
ホームページから

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

▼調査の目的・方法

本特別委員会は、地方自治法第21条第3項に規定する法人の経営状況の調査を行い、各法人が定款などに定められた目的に沿って運営されているかどうかの検証を目的として、平成25年6月24日の本会議で設置されました。

15法人から参考人を招き、平成24年度決算を中心に事業内容を聴取る形で調査を行い、平成25年第4回定例会本会議初日において、委員長から調査結果が報告されました。その抜粋を紹介いたします。

発展させるよう取り組みなければ一過性で終わってしまう危険性もある。オートキャンプ場の利用者数が伸び悩んでいるようだが、安定的な経営を達成するためには、オートキャンプ場の利用者増を図ることが必要であると思う。引き続き、工夫・努力を行っていただきたいとの意見がありました。

○一般財団法人下関市公営施設管理公社

満珠荘特別会計の平成25年度の事業計画を見る限り、収支バランスは取れているが、実現可能な数字であるという説得力が感じられない。利用客数も、文言上は獲得目標として掲げながら、数字上は現実的で、消極的なところが心配である。赤字の実態の説明があったが、その解消については公社の自主努力で対処するのは当然である。指定管理者の指定の問題をはじめ、指定管理者制度を導入する施設にふさわしい市民サービスや利用促進につながる、経営としても成り立つ仕組みについて意見を出していただき、今後につなげてほしいとの意見がありました。

○公益財団法人下関市文化振興財団

広報に関して、広域的な集客が図れる宣伝や情報発信について、

テレビコマercialを効果的に行っているが、より積極的に頑張っていたきたい。フェイスブックは無料なので、どんな活用してほしい。自治会と情報交換していただきたいが、下関市には企業も数千社あることから、商工会議所とも連携していいのではないかとこの意見がありました。

近代先人顕彰館について、入館者のほとんどが60歳以上であることが明らかになったことから、このままでは田中絹代を知っている人が少なくなり、入場者が減るのではないか。この施設を将来的にどうするかは市の仕事になると思うが、財団としては指定管理者の指定を受け、想いもあると思うので、市にその想いを提言していただきたいとの発言がなされています。ミニホールの積極的な活用や市役所の駐車場整備後は、音楽イベントなどでもできるのではないかとこの意見がありました。

○公立大学法人下関市立大学

地域貢献について、中心市街地



活性化のみならず、過疎化対策についても豊北町などで取り組みがなされ、さらに城下町長府地区での取り組みが平成25年度都市景観大賞(都市空間部門)大賞(国土交通大臣賞)の受賞につながったということもある。地域の課題を調査し、その解決を図る取り組みなどもアピールしていただきたい。ただ、外部の知恵を借りることは、1つのヒントにはなるが、地域住民が自らやるという気になることが重要である。地域が何をしたいのかを調べ、具体的な助言をするという役割が求められているのではないかと。地域と市との3者で連携して貢献していただきたいとの意見がありました。